PIAA MLSE1
取扱説明書

工数：1.5h

この度はPIAA製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
正しくお使い頂く為に、取扱説明書を良くお読みください。
この取扱説明書はなくさないよう、大事に保管しておいてください。

※この本文中の⚠注意マークと⚠警告マークは、取り付け上に関する重要な注意事項です。
安全かつ確実に作業して頂く為、必ず厳守してください。

お客様へお願い ‥‥この取扱説明書とご購入時のレシートは、大切に保管しておいてください。
この商品を貸したり譲ったりする場合は、必ずこの取扱説明書を含めてお渡しください。

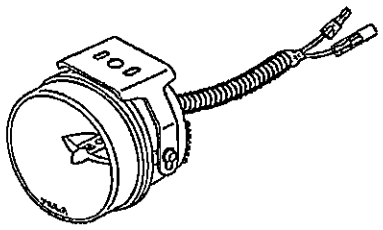
取付店様へお願い ‥‥この取扱説明書は、取り付け後必ずお客様へお渡しください。

●本製品はYAMAHA セロー250（DG17J）専用です。該当車以外には使用できません。

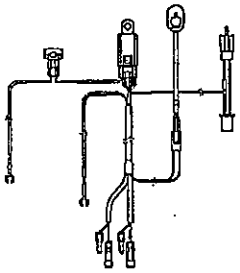
内容品

※梱包品が全部揃っている事を確認してください。
足りない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

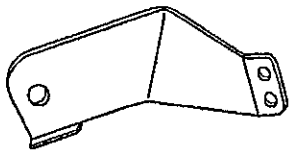
①LEDランプ【2セット】



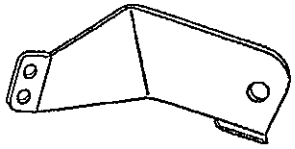
②リレーハーネス【1セット】



③ブラケット（R）【1個】

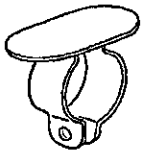


④ブラケット（L）【1個】

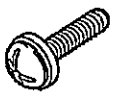


⑤両面テープ【1枚】

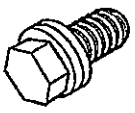
⑥スイッチ
ブラケット【1個】



⑦スクリュー【1本】

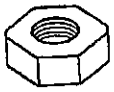


⑧六角ボルト【2本】



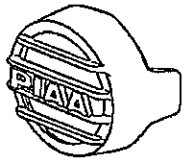
⑨ワッシャー【2個】

⑩六角ナット【2個】



⑪タイラップ【10本】

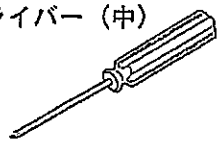
⑫ストーンガード【2個】



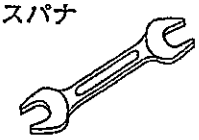
使用工具

以下の工具を用意してください。

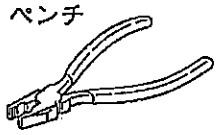
- ⊕ドライバー（中）



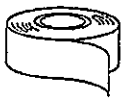
- スパナ



- ペンチ



- ビニールテープ



使用上のご注意　／安全にお使い頂く為に必ずお読みください。

⚠警告

- 点灯中及び消灯直後のランプは大変高温になっていますので、手を触れないでください。火傷を負う恐れがあります。
  又、点灯中及び消灯直後には、洗車等で故意に冷水をかけないでください。レンズ割れ等、機能を損なう恐れがあります。
- 点灯中のランプは大変高温になりますので、枯れ草や可燃物の側で駐停車した時は点灯しないでください。
  火災の原因となる事があります。
- 点灯中のランプを間近で長時間見つめないでください。目が痛くなったり、視力障害の原因となる事があります。

⚠注意

- このランプは雨、雪等の降る夜間時、夕暮れ時、霧の出ている時等の視界が悪い場合に使用してください。
  不必要な点灯はしないでください。
- スイッチの操作は、走行中に絶対行なわないでください。
- エンジンがかかっていない時点灯させておくとバッテリーが上がり、エンジンがかからなくなる事がありますので、
  ご注意ください。
- ランプの取り付け部は、走行前に点検し、異常を発見した場合は取り付け直してください。
- ランプ取り付けスクリュー類は、走行前にゆるみの有無を確認し、増し締めしてください。
  又、ブラケットの取り付けボルトも確認してください。
  走行中ブレが発生した場合は、直ちにランプ及びブラケット等の取り付け部を点検、増し締めしてください。
- 車体によっては、エンジン始動時に高電圧が発生します。ランプ及び、ハーネス保護の為、始動直後の点灯及び、
  点灯状態でのエンジン始動は避けてください。
- 故障の原因となりますので、ランプ及びハーネスを分解しないでください。
- ランプ及び、ハーネスを外して保管する場合は、汚れを拭き取り、水気のない所に保管してください。
- ランプにレンズ割れその他破損が認められた時は、ランプの交換をしてください。又、コード被覆の損傷等異常が
  認められた場合は、ハーネスを交換してください。
- 破損したレンズ及び、ハーネス等の取り扱いはケガをしないよう充分留意し、不燃物として廃棄してください。
- オフロードを走行する場合は取り外してください。

取り付け上のご注意　／必ずお読みください。

⚠注意

- このランプは、PIAA のロゴが正立するように、ブラケットを組みご使用ください。
- ランプ機能を最大限に発揮させる為、必ずPIAA製専用ハーネスをご使用ください。
- 作業は、平らな場所で充分なスペースと安全を確保して行なってください。又、車両は、ギアをニュートラルにし、エンジンを停止させておいてください。
- 作業は、エンジンが充分冷えてから行なってください。
  特にエンジン本体、マフラー、オイルクーラー等、高温部が熱い内には作業しないでください。
- ランプ本体及び、ランプハーネスのお取り扱いには充分ご注意ください。
  落としたり、物を当てたりして衝撃が加わるとレンズ及び、ランプハーネスの損傷につながります。
- ランプボディ等には穴あけ加工はしないでください。又、ランプ各部に接着剤やシール剤等を塗布しないでください。
- ランプハーネスの改造はしないでください。過熱やショートの原因となる他、最悪は車両火災の恐れがあります。
  改造による不具合については一切責任を負いかねます。
- バッテリー端子の脱着の際は、⊕端子と⊖端子に同時に触れないでください。感電の恐れがあります。
  ゴム手袋等を着用し防護処置をしてください。
- バッテリーの⊕端子と⊖端子に、金属が同時に触れないよう充分ご注意ください。ショートを起こすと大変危険です。
- ボルト類は確実に締め付け、試験走行を行ない、ゆるみが出た場合は、増し締めを行なってください。
- ランプ取り付け後、ランプの照射光線の調整をしてください。(P10 の光軸調整方法をご参照ください。)
- 取り付け終了後、ヘッドランプ等の灯火類やホーン等が正常に作動するか確認してください。
- バッテリー端子を取り外すと、純正用品のメモリーが消えますので、作業終了後元通り直してください。
  (修正方法は車両の取扱説明書等をご参照ください。)

配線上のご注意　／必ずお読みください。

⚠警告

- 配線の際は、下記注意事項を厳守してください。誤った配線や不確実な配線は、ランプの機能を損なう他、最悪は車両火災を起こす恐れがあります。

⚠注意

- 必ずバッテリー⊕端子及び⊖端子を外してから作業してください。
  バッテリー端子は必ず⊖端子から外し、ショートさせないよう充分ご注意ください。
- バッテリー端子を脱着する場合は、必ず車両のキーをOFFにして抜き、電装品のスイッチをOFFにしておいてください。
- バッテリー端子脱着の際、他の電装品コードを接続している場合は、⊕と⊖を間違わないようビニールテープ等で束ねて区別しておいてください。
- ⊕電源コード（白線）と⊖アースコード（黒線）は色をご確認の上、確実に接続してください。
- ⊕電源はオルタネーター（発電器）からとらないでください。
- リレーボックス及び、ヒューズボックスは、直接水のかかる部分には設置しないでください。
- エンジン等の高温部に、ハーネスが触れないよう配線してください。
- ハーネスは可動部等に噛み込まれないように配線してください。
- ブレーキ配管等の高圧配管にはリレーハーネスを固定しないでください。
- ハーネスがエッジ部に当たる時は、市販のクッションテープ等でハーネスを保護してください。
- コネクター及び、ギボシ端子を接続する場合は、カチッと音がするまで確実に差し込み、固定してください。
- コネクター及び、ギボシ端子を抜く場合は、コネクター本体及び、ギボシ端子本体を持って抜いてください。
  コードを引っ張ると、接続部が損傷し、過熱等が発生して危険です。
- リレーハーネスはたるまないよう、タイラップ又はビニールテープで束ねて車体配線等に固定してください。
- バッテリーを接続する前に再度配線の確認を行なってください。
- バッテリー端子及び電装品コード接続の際は、⊕と⊖を絶対に間違わないよう充分にご確認の上、必ず⊕端子から取り付けてください。
- 配線完了後、作動を確認してください。点灯しない場合は、後述の『【3】こんな時には……』をお読みください。

【1】LED ランプ取付概略図

本概略図は取り付け作業の手順を要約して説明したものです。各作業の詳細につきましては、各項目に案内されているページをご参照ください。

2 バッテリー⊕端子を取り外してください。(P6.【2】－(6) をご参照ください。)

1 バッテリー⊖端子を取り外してください。(P6.【2】－(6) をご参照ください。)

7 ⊕電源コード（白線）をバッテリー⊕端子と共締めで、バッテリーに接続してください。(P10.【2】－(19) をご参照ください。)

8 ⊖コード（黒線）をバッテリー⊖端子に共締めしてください。(P10.【2】－(19) をご参照ください。)

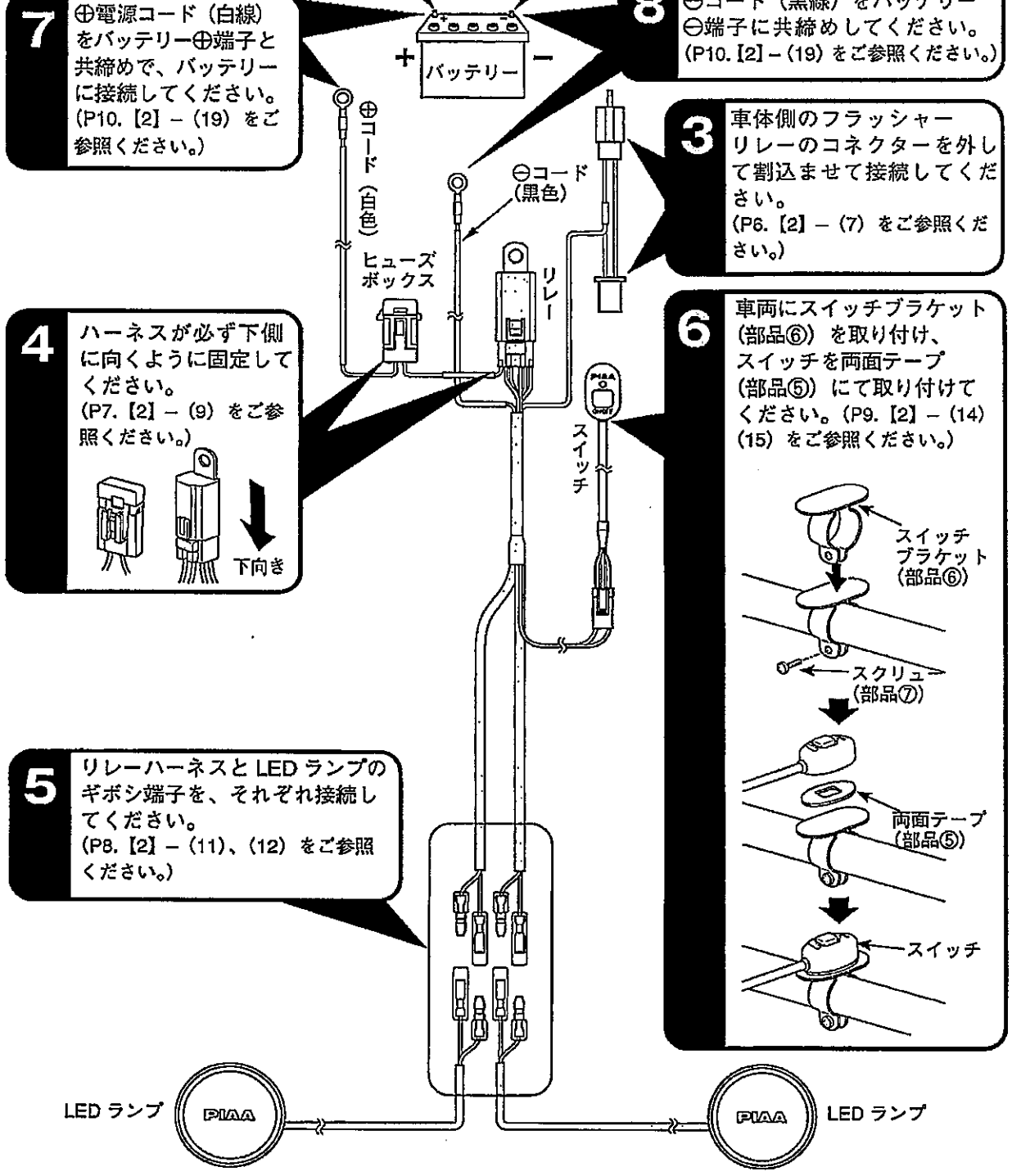
3 車体側のフラッシャーリレーのコネクターを外して割込ませて接続してください。(P6.【2】－(7) をご参照ください。)

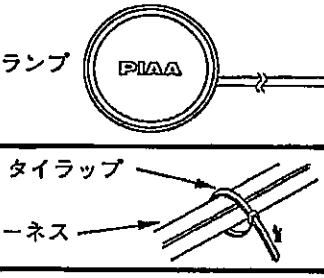
4 ハーネスが必ず下側に向くように固定してください。(P7.【2】－(9) をご参照ください。)

6 車両にスイッチブラケット（部品⑥）を取り付け、スイッチを両面テープ（部品⑤）にて取り付けてください。(P9.【2】－(14)(15) をご参照ください。)

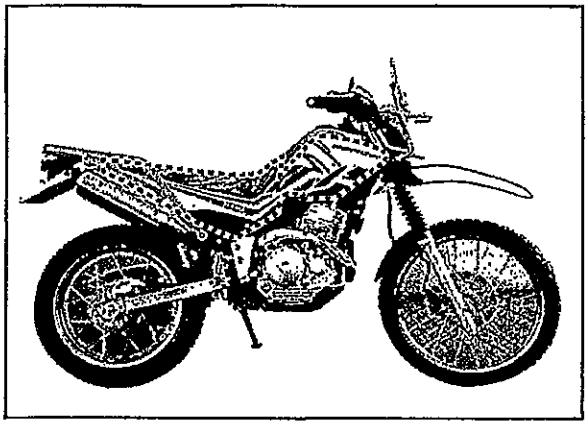
5 リレーハーネスと LED ランプのギボシ端子を、それぞれ接続してください。(P8.【2】－(11)、(12) をご参照ください。)

9 ランプ取り付け完了後、リレーハーネス各部がエンジン可動部や、高熱となる部分に触れないよう、添付品のタイラップ（部品⑪）で固定してください。(P10.【2】－(21) をご参照ください。)



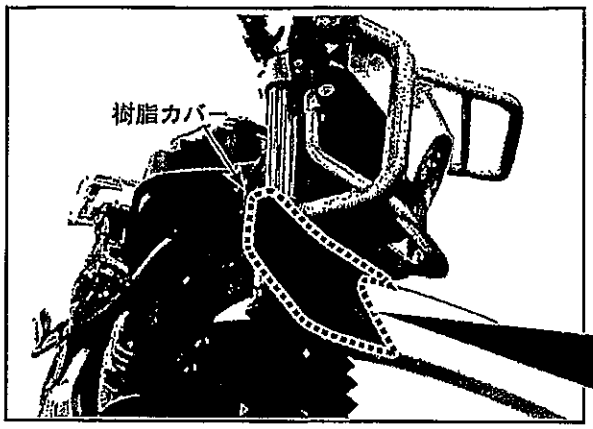


【2】LED ランプの取り付け

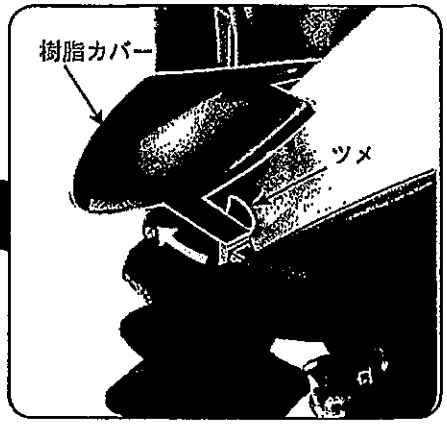


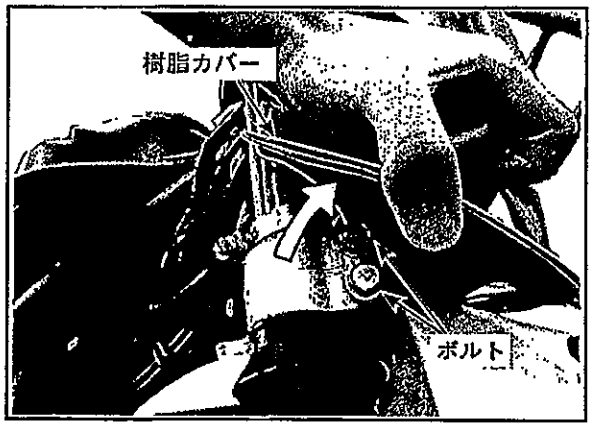
(1) 車体の点線部のシート及び、外装を取り外してください。

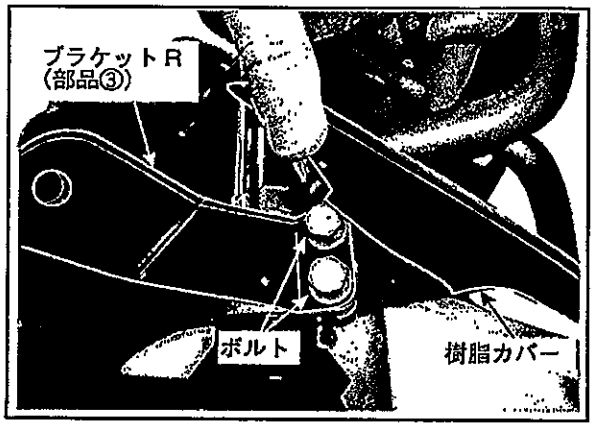
※取り外し方は、サービスマニュアルをご参照ください。



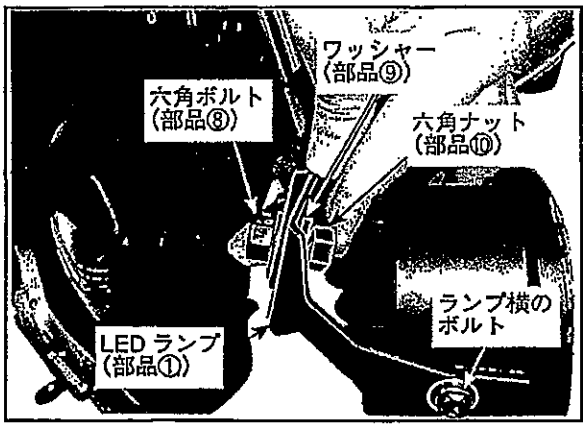
(2) 車体の点線部の樹脂カバーのツメを外して樹脂カバーをめくり、ボルトを２本取り外してください。







(3) 樹脂カバーをめくって、(2) で取り外したボルトを使用して、ブラケットR（部品③）を取り付けてください。



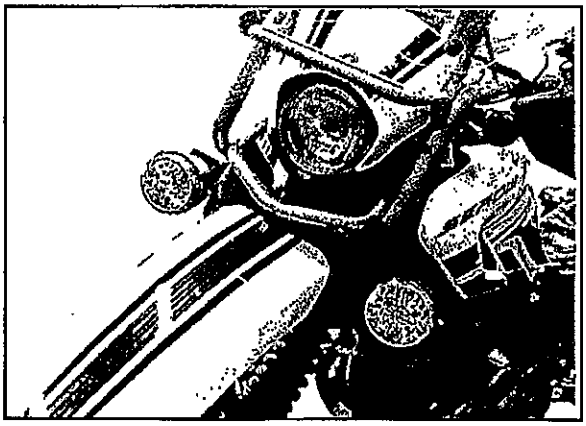
(4) LED ランプ横のボルトを緩めて、ブラケット R（部品③）に、LED ランプ（部品①）を六角ボルト（部品⑧）、ワッシャー（部品⑨）及び、六角ナット（部品⑩）にて仮取り付けしてください。

⚠注意

ランプを取り付け状態にした時、**PIAA**のロゴが逆さまにならないよう、ご注意ください。

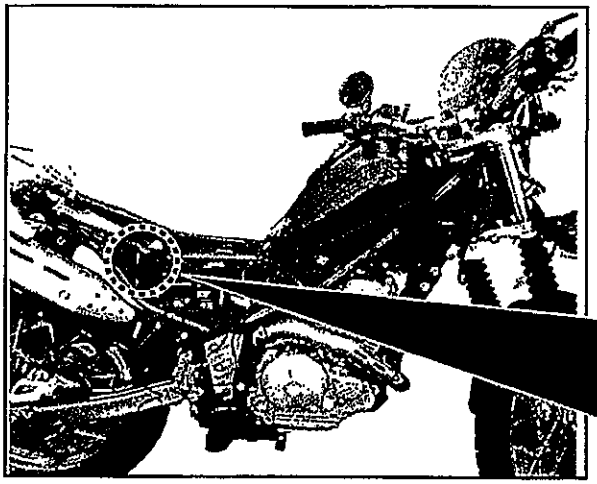
○ PIAA

× PIAA



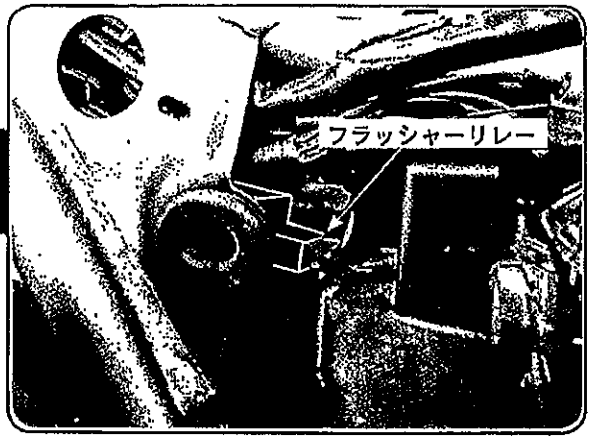
(5) 反対側も同様にブラケットL（部品④）、六角ボルト（部品⑧）、ワッシャー（部品⑨）及び、六角ナット（部品⑩）を使用して LED ランプ（部品①）を仮取り付けしてください。

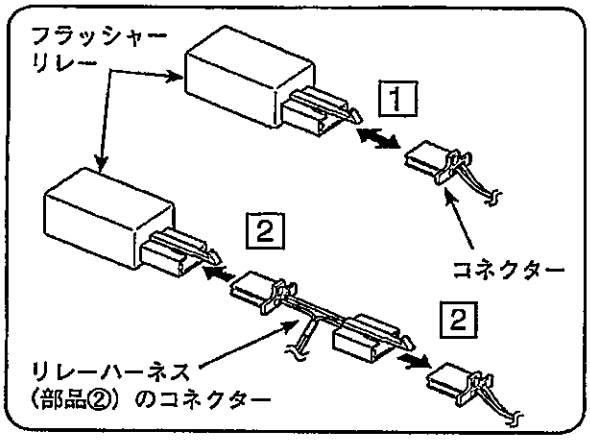
(6) バッテリー端子の⊕⊖を外してください。

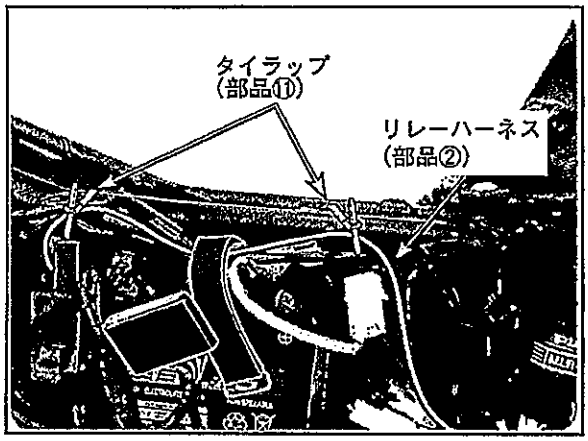


(7) [1] 車体側のフラッシャーリレーからコネクターを取り外してください。

[2] リレーハーネス（部品②）のコネクターを割りませて接続してください。



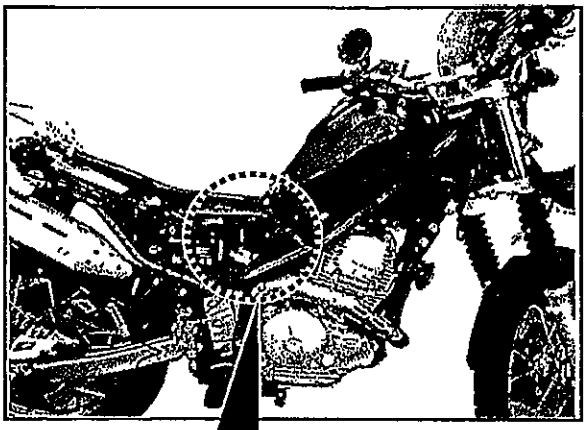




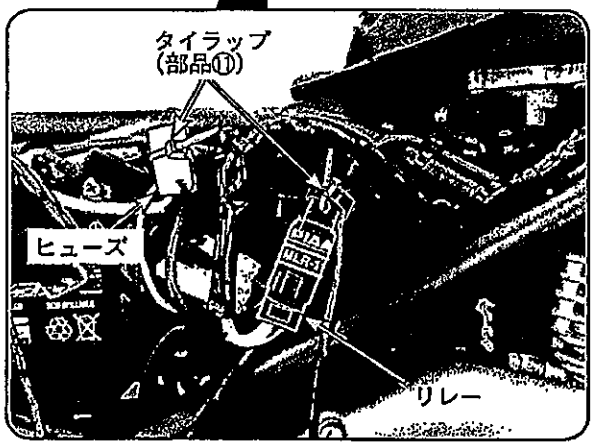
(8) リレーハーネスを車体フレームの写真の位置にタイラップ（部品⑪）にて仮固定してください。

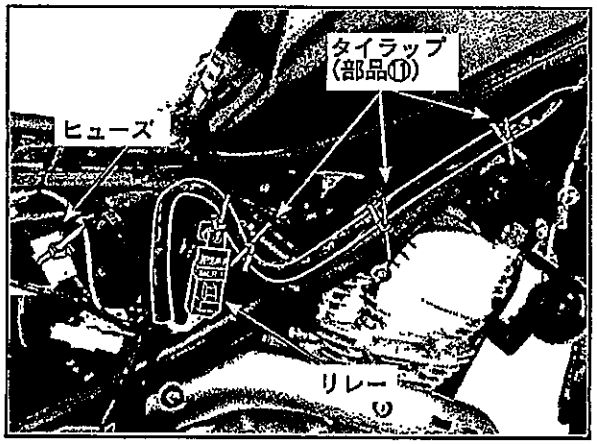
⚠注意

● リレーハーネスは、この後の作業で位置を微調整する場合がありますので、本作業ではタイラップを強く締めないでください。



(9) リレーハーネス（部品②）のリレー及び、ヒューズを写真の位置にタイラップ（部品⑪）にて固定してください。

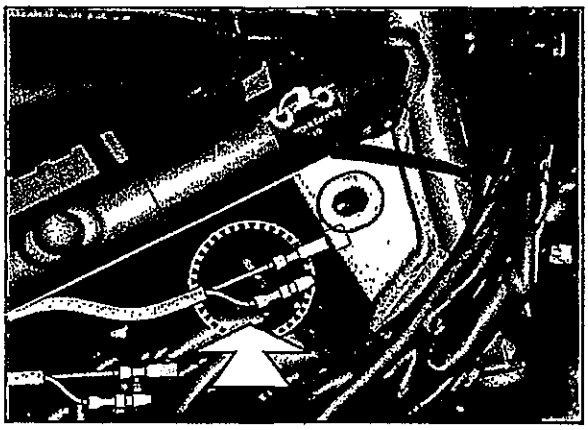




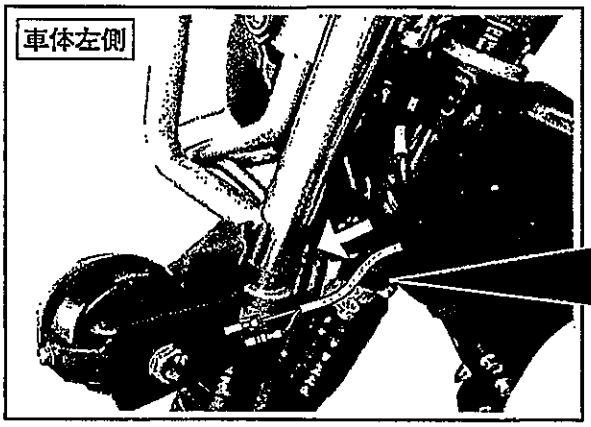
(10) リレーハーネス（部品②）のハーネス部を写真の位置で車体フレームにタイラップ（部品⑪）にて仮固定してください。

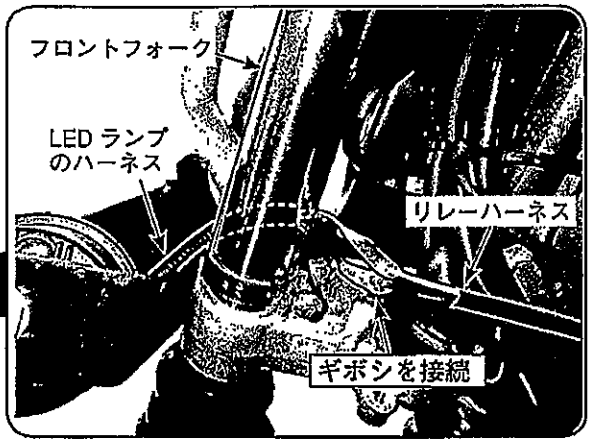
⚠注意

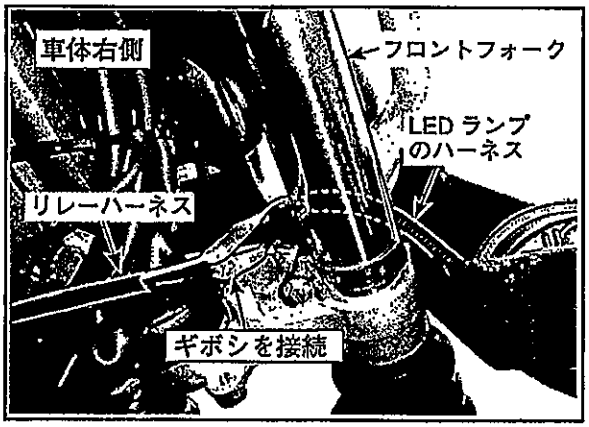
● リレーハーネスは、この後の作業で位置を微調整する場合がありますので、本作業ではタイラップを強く締めないでください。



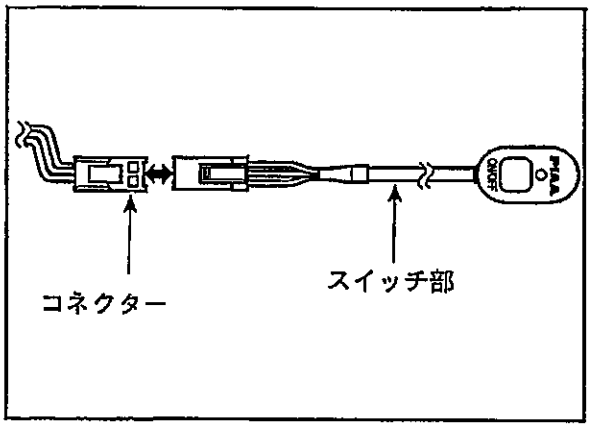
(11) ギボシ端子のついた長い方のハーネスを写真の位置から車体の逆側へ通し、フロントフォークの前側でLEDランプ（部品①）のギボシ端子と接続してください。
ギボシ端子の接続部は樹脂カバーの中に収めてください。



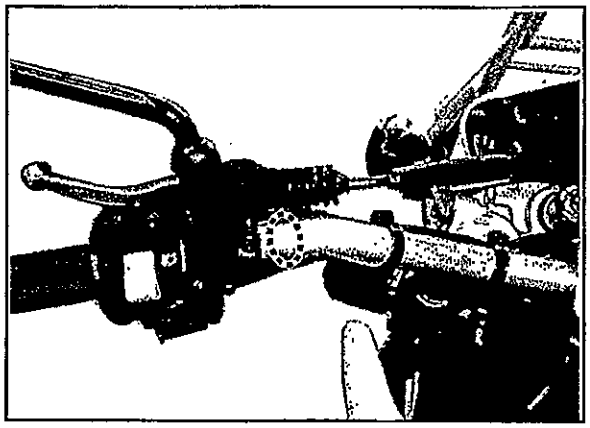




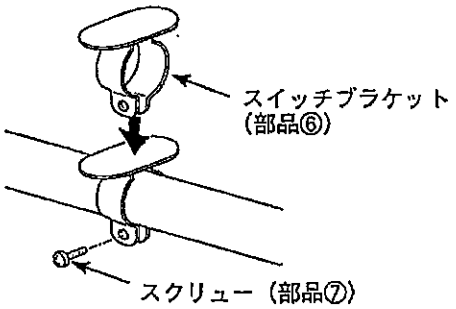
(12) ギボシ端子のついた短い方のハーネスを、フロントフォークの前側を通してLEDランプ（部品①）のギボシ端子と接続してください。
ギボシ端子の接続部は樹脂カバーの中に収めてください。

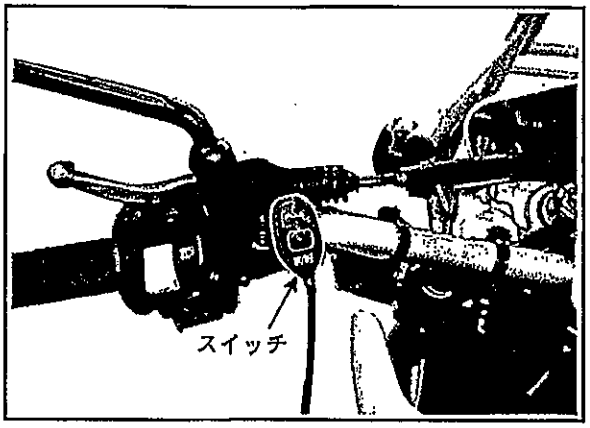


(13) リレーハーネスのスイッチ部のコネクターを取り外してください。

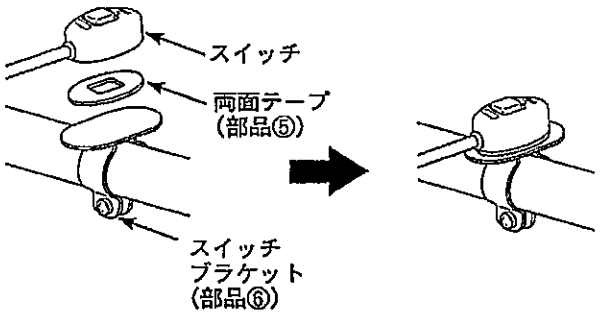


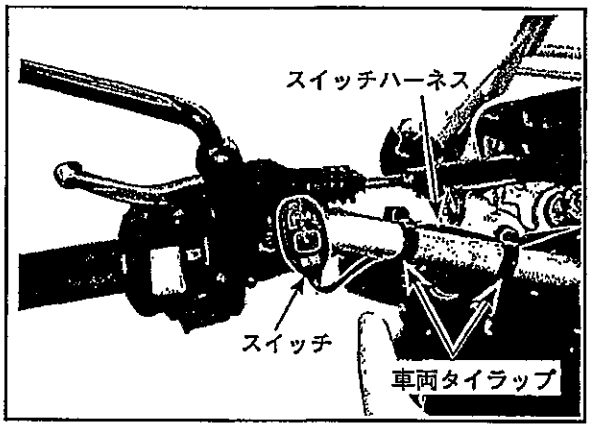
(14) スイッチブラケット（部品⑥）をスクリュー（部品⑦）にて、ハンドル左側の写真の点線の位置に取り付けてください。





(15) (13) で取り外したリレーハーネスのスイッチを、スイッチブラケット（部品⑥）に、両面テープ（部品⑤）にて取り付けてください。

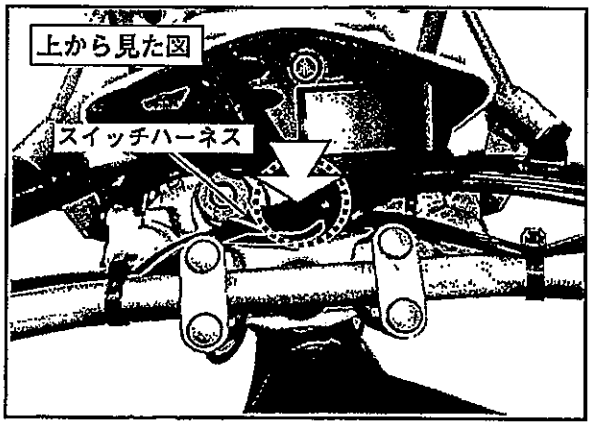




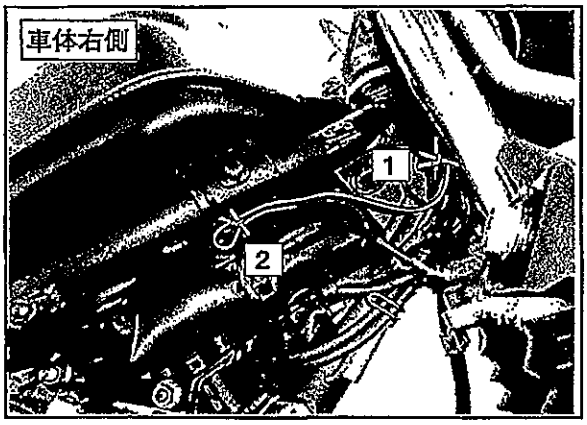
(16) ハンドルの車両ハーネスを固定している車両タイラップを外して、スイッチハーネスを車両ハーネスに沿わせて、外したタイラップで共締めしてください。

⚠注意

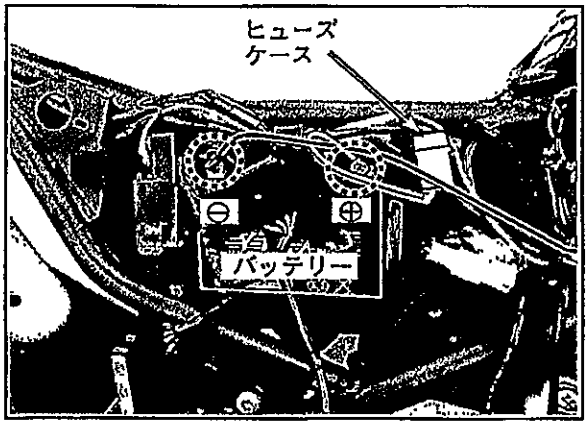
- ハンドルを左右に切った際に、ハーネスが突っ張ったり、車体と干渉しないように取り付けてください。



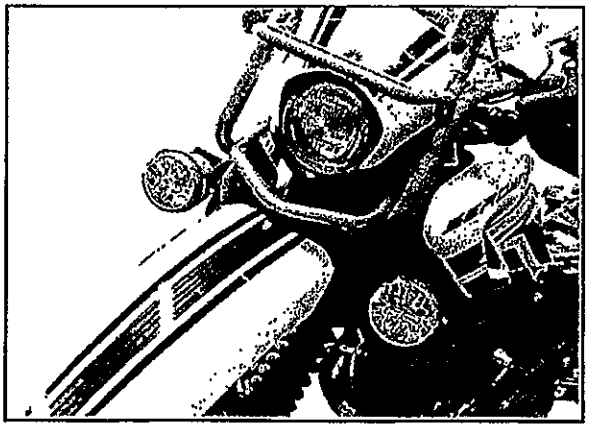
(17) スイッチハーネスを車両ハーネスに沿って写真の位置の隙間から下方向へ通してください。



(18) 上から通してきたスイッチハーネスのコネクターをリレーハーネス（部品②）と接続して、写真の[1]の位置で車体ハーネスと一緒にタイラップ（部品⑪）で仮固定し、[2]の位置で余ったハーネスをタイラップ（部品⑪）で束ねてください。



(19) リレーハーネス（部品②）の⊕電源コード（白）をバッテリーの⊕側に接続してください。
リレーハーネス（部品②）の⊖電源コード（黒）をバッテリーの⊖側に接続してください。



(20) 点灯確認を行なってください。

(21) 仮固定していた各場所のタイラップを本締めしてください。

(22) 取り外した各パーツを戻して、光軸調整を行なってください。

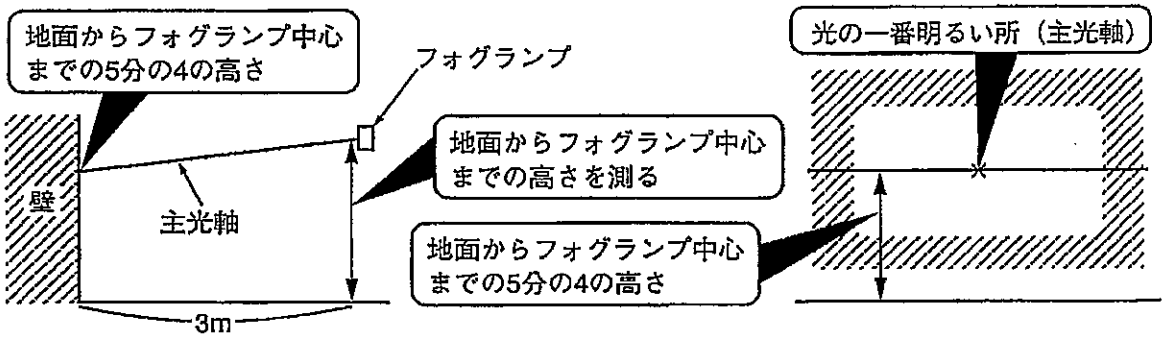
※ パーツを戻す際は、ハーネス類が下側にたるんで いない事をご確認ください。
又、ハーネス類がフロントフォーク等に絡まない事をご確認ください。

⚠注意

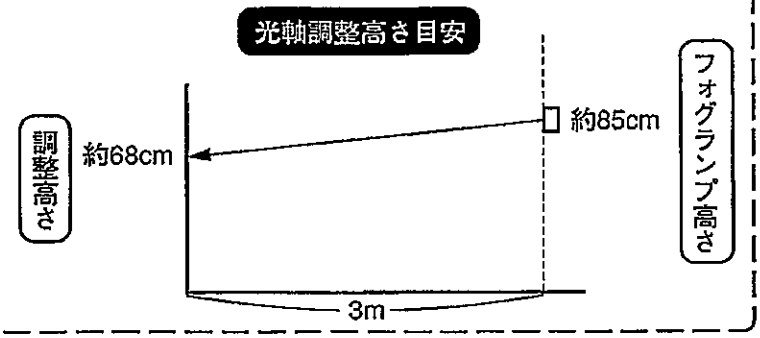
- 荷物積載時及び２名乗車時には光軸が上向きにずれ、対向車の迷惑になる場合がありますので、光軸調整を行なってください。
- 点灯させるとランプが熱くなりますので、火傷をしないよう充分ご注意ください。

光軸調整方法

● 平らで傾斜のない場所を選び、3m 前方の壁に向かってランプを点灯させ、光の一番明るい所（主光軸）を、地面からランプ中心までの高さの５分の４の高さに合わせてください。

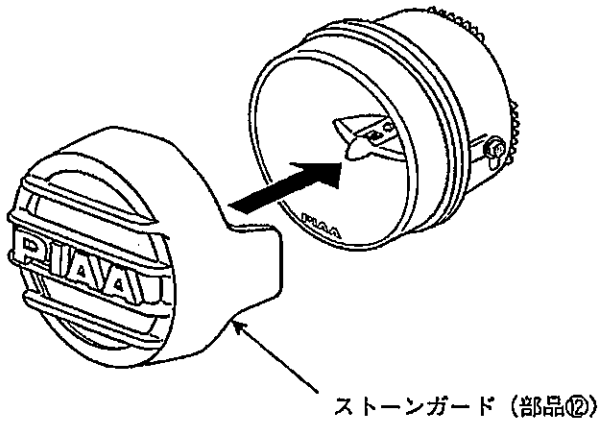


YAMAHAセロー250の場合は
ランプの高さが約85cmですので、
主光軸の高さは約68cmを目安に
位置を調整してください。



調整後、各ボルト及び、各ナットを確実に締め付けて固定してください。
以上で取り付け完了です。

(23) ストーンガード（部品⑫）は必要に応じて取り付けてください。



【3】こんな時には……

下記に従って、各部を点検してください。

1 取り付け後、点灯しない時

→ つなぎ忘れや接続が不確実な所がないか配線を確認してください。

●スイッチのイルミネーションが点灯しない場合

→ スイッチのコネクターの接続を確認してください。接続が誤っているとスイッチは作動しません。

→ スイッチのコネクターを接続した配線の車体側ヒューズを確認してください。
切れている場合は、ヒューズを交換してください。

→ リレーハーネスのヒューズを点検して下さい。
切れている場合は、「3 ヒューズが切れた時」に従って原因を取り除いてください。

→ スイッチ本体が故障の場合でも同様の症状が現われます。この場合はスイッチユニットの交換が必要です。

●スイッチのイルミネーションが点灯し、操作してもリレー本体の作動音（カチッ）がしない場合

→ スイッチ本体が故障の場合、同様の症状が現われます。
この場合はスイッチ ユニットの交換が必要です。

●スイッチのイルミネーションが点灯し、操作してもリレー本体の作動音（カチッ）がする場合

→ ランプを点検してください。切れている場合は交換してください。

2 突然点灯しなくなったら…

→ ランプを左右入れ替えてください。症状が入れ替わらない場合、リレーハーネスに不具合がありますので点検してください。症状が入れ替わって点灯しない場合はランプをリレーハーネスから取り外してランプハーネスの⊕⊖を 12V 電源に直接繋げて点灯確認をしてください。点灯しない場合はランプを交換してください。

→ リレーハーネスのヒューズを点検してください。切れている場合は、「3 ヒューズが切れた時」に従って原因を取り除いてください。

→ 車体側のヒューズを確認してください。切れている場合は、原因を取り除いてください。

→ 各部の端子の接続が不確実になっている場合があります。
端子が浮いていないか、汚れが付着していないか等を点検してください。

→ 水入りや、不確実な接続による不安定な電流によりリレーが破損している場合があります。
リレーを交換し、リレー取り付け位置及び配線各部を点検してください。

→ スイッチを点検してください。ボタン作動に異常が見られる場合は交換してください。

3 ヒューズが切れた時

→ ショートが発生している可能性があります。ランプハーネス、リレーハーネスの配線を点検し、損傷部を交換してください。交換しないままの使用は大変危険です。ショート発生の原因の多くは配線の噛込み、ランプハーネスのスリーブのずれです。

4 つきっぱなしになってしまったら

→ 水入りや、不確実な接続により、リレーが損傷しています。
リレーを交換し、リレー取り付け位置及び配線各部を点検してください。

→ スイッチのボタン作動を確認してください。異常が見られる場合は、スイッチを交換してください。

PIAA株式会社
お客様相談窓口
http://www.piaa.co.jp

ナビダイヤル 0570-050-555
受付時間 10：00～12：00／13：00～17：00
（土・日・祝日を除く）